WASEDA UNIVERCITY

vol. 42

千代田稲門会会報

2022年12月

発　　行　早稲田大学校友会　千代田稲門会
発 行 人　遊佐　謙太郎
編 集 人　新藤　雅章、岡田　今日子
印　　刷　ヤマノ印刷株式会社
デザイン　linen株式会社

ホームページ：　www.tomon-chiyoda.com/
Facebook：　www.facebook.com/chiyodatomon
（題字：奥島孝康早稲田大学第14代総長）

WASEDA ALUMNI SINCE 1885

千代田稲門会の誕生

相談役　青柳 乾太郎（商40）

一九六八年八月十三日に千代田区一番町「いきいきプラザ」でC氏（商研39）の呼び掛けにより、校友課から推薦された、稲葉稲太郎氏（法26）、茂澤杲氏（商研29）手塚善雄氏（商33）青柳乾太郎（商40）の五名で設立について初会合をおこなった。二回目の会合は各々の人脈でやる気のある方々を誘い十名くらいで、発起人会開催にむけて具体的な詰めをおこなった。この時には多くの稲門会設立の助言をしてきた校友課長の矢谷憲氏（文35）にお世話になった。

十一月二十一日、十八時から一ツ橋の日本教育会館内「喜山」で四十数名の熱い心を持った校友が集まり千代田稲門会発起人会を結成した。活動方針、会則案、役員候補、役割分担を決めて設立総会に向けて準備が始まった。千代田にふさわしい稲門会をつくろうとの会員の強い思いが様々な意見の違いを乗り越えて小異を捨て、大同につく気持ちで順調に進んだ。新しい組織を作るときは勢いとスピードが大事であることを実感した。

この頃、何をやるのもお金がかかるので、役員が立て替えをしながらやり繰りをしていた。この時に後に顧問になって頂いた西郷之厚氏（推薦校友45・二番町在住・相互ビルディング社長）から多額の寄附を頂いた。これが設立総会にむけての大きな力となり、大変感謝している。

一九九七年（平成九年）二月二十一日、千代田区九段下のホテル・グランドパレスで会員一〇六名、来賓他三十九名、計一四五名の出席者を迎え設立総会が開かれた。大学代表として奥島孝康総長に出席をいただいた。「千代田稲門会会報」の題字は奥島総長に頂いたものである。懇親会で上映したスライドによる「千代田と早稲田」は苦心の作であったが、幸い会場の皆様から大変好評で、総長からもねぎらいの言葉をいただいた。

当初から行動をともにしてきた手塚元会長には企画力と行動力があり、会の発展のために多大な実績を残していただいた。感謝です。

千代田稲門会への思い

相談役 五島 一雄

私が千代田稲門会に入会したのは平成22（2010）年のことです。小・中学校の先輩青柳乾太郎氏のご紹介を受け、その年の新年会の参加が皆様との初めての出会いでした。

当日、会場のアルカディア市ヶ谷には錚々たる顔ぶれが参集されました。ちなみに海部俊樹氏（元首相）、木村茂氏（元千代田区長）、小池唯夫氏（元毎日新聞社長、元パリーグ会長）、中島昌信氏（元三菱地所専務）、森徹氏（元中日ドラゴンズホームラン王）等々、日頃お目にかかれない方々が出席されていました。このような格調高い千代田稲門会へ入会したことに感動したものです。とはいえその会場には堅苦しい雰囲気などみじんもなく先輩方は若輩者の私に優しく接してくださり（先輩は後輩を慈しみ）、私は先輩を尊敬する（後輩は先輩を敬う）気持ちにあふれたものです。

当時は手塚善雄会長の下で活発な活動がありました。毎月のグランドパレスでのサロンは素敵な夜景をバックに会員同士のFace to Faceのお付き合いがあり、私は都合をつけてほとんど毎回のように参加したものです。旅行部会では中国、南米などの大掛かりな旅行や京都旅行などもありました。また姉妹提携をしている台湾校友会との交流が行われ、現在も続くスポーツ観戦部会で野球の早慶戦、ラグビー早明戦、レガッタ早慶戦、ゴルフ部会コンペ、グルメ会、お花見会などかずかずの行事に参加して若かりし学生時代の思いを自身に引き寄せたものです。

時を経て新型コロナのパンデミックの中、校友会活動も縮小せざるをえない現状ですが、少しづつ日常が戻りつつあります。以前にも増した活動が再開されることを祈るとともに校友会の目的でもある早稲田大学への支援も心掛けていきたいと考えています。

会長ご挨拶

千代田稲門会会長　遊佐謙太郎

2022年を振り返ると帝国ホテルに会場を移して6月に総会が3年ぶりにリアルの場で開催され、本会名物のサロン会の復活、スポーツ観戦や懇親ゴルフ会また多数の新入会員をお迎えするなど、会員の交流は少しずつ元の姿に戻りつつあります。2023年の干支は「葵卯」で、これまでの努力が実を結び勢いよく成長し飛躍する年になるようです。本会としても愉しい溌剌とした交流の機会を設けていきますので、皆様のご参加をお願い申し上げます。

2022年千代田稲門会
コロナなんかに負け ないで、やったぜ!!

2022年3月13日(日)

東京都23区支部大会出席

3/13(日)、コロナ禍で開催中止が続いていた23区支部大会が三年ぶりにリーガロイヤル東京でリアル開催されました。

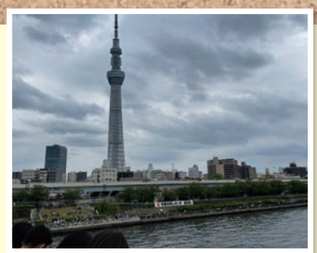
千代田からは23区支部幹事会にゆかりのある6名が参加しました。講演会は、早稲田大学国際文学館(村上春樹ライブラリー)の十重田裕一館長が「村上春樹ライブラリーの現在と未来」と題してライブラリー設立に至るまでのご苦労や昨年秋のオープン以来の成果についてご報告されました。

2022年4月17日(日)

早慶レガッタ応援観戦

隅田川に春を告げる早慶レガッタが今年も4月17日(日)に開催されました。コロナ禍のため、やや規模を縮小した大会でしたが、千代田稲門会では3年ぶりに隅田川桜橋にて観戦応援を実施いたしました。メインレースの対抗エイトは、14:40にスタート。レースは早稲田艇が終始慶應艇をリード。一時は1艇身以上の差をつけますが、後半は追いすがる慶應は徐々に差を詰め、ゴールの桜橋付近では半艇身差まで詰められますが、最後は何とか逃げ切って勝利を収めました。接戦を制した早稲田クルーはゴール直後に喜びを爆発させ、我々千代田稲門会のメンバーも大いに喜びを分かち合いました。

観戦後は、本所吾妻橋の「もつ焼き　稲垣」での祝勝会。久しぶりの美酒に酔いしれました。



五島一雄、遊佐謙太郎、鈴木隆幸、大久保泰人、大久保ゆきえ、田名瀬崇、村木隆、三宅菜緒、南雲靖夫　計9名

2022年5月16日(月)

再開第一回サロン会

五月雨る中、昨年の12月以来となるサロンが帝国ホテルで開かれました。コロナ対策として事前予約制、着席ブッフェスタイルのマスク会食。総勢27名には新入会員が4名も加わり、千代田のサロンらしい明るく楽しい会となりました。今後もこのスタイル(事前予約制のマスク会食)で開催いたします。会員各位、新たなメンバーのご参加をお待ちしております！

2022年6月10日(金)

総会

6月10日金曜日、有楽町・帝国ホテルに於いて実に3年ぶりとなる「令和4年 早稲田大学校友会・千代田稲門会定時総会」が開催されました。第一部の総会は、鈴木隆幸幹事長の司会進行によって始まりました。冒頭で遊佐謙太郎会長のご挨拶、早稲田大学地域コーディネーターで教務部事務部長の伊藤達哉様からはご祝辞と早稲田大学の現況をご報告頂きました。

総会議事は、令和3年度事業報告(遊佐会長)同会計報告(大西貴弥副会長)同監査報告(笹間芳彦会計監査)が審議され原案通り承認されました。その後、令和4年度活動計画案(遊佐会長)会計予算案(大西副会長)が審議され原案通り承認されました。

第二部の講演会では、早稲田大学学術院創造理工学部建築学科の石田航星准教授より「デジタルトランスフォーメーション(DX)と都市」と題して御講演頂きました。DX誕生の背景、DXで重要なこと、DXが建築分野で変える未来についてご説明頂きました。

全体記念撮影の後は、南雲靖夫副幹事長の司会進行で第三部・懇親会が始まりました。五島相談役の発声による乾杯、遊佐会長から新入会員の紹介、五島相談役と鈴木幹事長の指導で「千代田稲門会の歌」と続き、「早稲田大学校歌」は南雲副幹事長のリードで3密を避けながら歌い、リアルに集うことの喜びをかみしめました。

楽しい時はあっという間。青柳乾太郎相談役の千代田らしい格調高い閉会の挨拶、保志場相談役による木遣り、関東一本締めで、帝国ホテルでの記念すべき第一回目の総会・懇親会はお開きとなりました。

2022年10月17日(月)

第二回サロン会

10/17(月)、半年ぶりとなる千代田稲門会“サロン”が帝国ホテル「松の間」で開かれました。総勢24名が参加し、新たに2名の方が会員に加わりました。当会と姉妹提携をしている台湾校友会の総会(11月)、早慶戦野球観戦応援(11月)、早明ラグビー観戦応援(12月)、ぶら鶴見横浜・町中華(12月予定)などの案内があり、早明ラグビーには15名の方が参加することになりました。転勤先から東京に戻り久しぶりに参加した会員、入りたてホヤホヤの会員が楽しく語らい、温かいサロンが戻ってきたことを感じた集まりでした。

2022年11月23日(水)

ラグビー早慶戦

伝統の早慶ラグビー、今年は1922年11月23日慶応三田グラウンドで行われた初対決から100年目にあたり「早慶戦100周年記念マッチ」として行われました。第1回の試合結果は慶応14に対し早稲田は0でしたが、100年目のこの試合では早稲田19慶応13で、早稲田の競り勝ちでした。

2022年11月28日(月)

第三回サロン会

本年三回目となるサロン会が帝国ホテルで開催されました。前回10月に会員諸兄の間からサロン会の連続開催を求める声があがったのを受けての開催。当日は青柳相談役の秘蔵の「千代田稲門会設立」に関わる資料など展示されて、アクセントをつけていました。

2022年12月4日(日)

ラグビー早明戦

伝統のラグビー早明戦を観戦。試合は明治35、早稲田21で明治の勝利。われらが早稲田はボールを支配しても、明治の鉄壁に阻まれてなかなか前進できなかったし、スクラムはやはり明治に力負けしていたようでした。来年に期待したい。

新人会員

石垣 恭一（1979年政経卒）

毎日新聞社を役職定年で卒業し、農業関連のコンサル会社「(株) 竹橋農業研究所」を立ち上げました。ＩｏＴを活用するスマート農業の支援、観光と農業、ＤＸを組み合わせたプロジェクトで地方再生の後押しをする事業を手掛けています。早稲田ラグビーの熱狂的なファンで、現役時代から早慶戦、早明戦の観戦を欠かしたことはありません。ぜひ千代田稲門会の皆様と、秩父宮、国立競技場で一緒に応援したいものです。

中村 匠（1982年教育卒）

1982年度教育学部社会科学科卒の中村　匠と申します。神田岩本町に販売拠点を置く耐火金庫メーカーの三代目となります。現在は家具の販売や内装工事を中心にオフィスや銀行店舗等を対象とした空間づくりのお手伝いもしております。亡父、繁は千代田稲門会設立当初からのメンバーとして参加しておりました。此度、地元でお世話になっています保志場先輩の勧めで、入会させて頂くこととなりました。64歳とかなり薹が立った新人ですが、宜しくお願いいたします。

石橋 久司（1987年商卒）

石橋久司と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。卒年は昭和62年で、学部は商学部でした。高校は早大学院です。長らく千代田区に勤務しておりますが、このような会に出させて頂いてとてもうれしいです。高校、大学とクラッシックギターのクラブにおりました。最近引退後の生活を考えるようになりまして、引退後の趣味として35年ぶりにギターを再開することとしました。エレキギターに持ち替えて、ただ今練習中です。将来のヘビメタおやじ(じじい？)を目指しています

光成 章（1987年社会科学卒）

千代田区と福井県が今春「相互発展に向けた連携協定」を結び、これから益々皆様のお世話になると考え入会させていただきました。個人経営でマーケティングリサーチやプランニングの仕事に携わっており、その延長で最近は（将来の早稲田後輩のリクルーティングに役立てるよう？）高校「探究活動」のサポートも行っています。よろしくお願いいたします。

黒沢 淳（2003年理工卒）

千代田稲門会の皆様はじめまして。黒沢淳（クロサワジュン）と申します。私は理工学部を2003年に卒業し、理工学研究科で2005年に修士課程を修了しました。趣味は読書でビジネス書や自伝などをよく読みます。仕事は新卒時からずっとスマートフォンなどのモバイル系の半導体の設計をしています。日系大手で10年ほど勤めてから、8年間外資系企業を渡り歩いて何とか生活しています。これからも度々参加すると思いますので、よろしくお願いいたします。

荒木 隆之（2015年教育卒）

初めまして。今年5月より入会させていただきました、荒木隆之と申します。教育学部 国語国文学科を2015年度に卒業致しました。趣味は楽器演奏で、コントラバスを弾いております。千代田区、特に神田とは昔からご縁があり、私の実家がお隣の台東区上野でしたので、幼少期から神田明神一帯を遊び場にしておりました。また社会人となって、これまでずっと神田を拠点に働いていましたが、今回千代田稲門会という新たなご縁ができ大変嬉しく思います。どうぞ宜しくお願い致します。

告知板

■新年会のお知らせ

＊2023年2月4日（土）正午より
＊永楽倶楽部
（千代田区永田町2-12-4　赤坂山王センタービル7階）
詳しくは、あらためて連絡いたします。

■2022年にご逝去された会員の方

石井 精二郎様（1月）
寺内 清高様　（5月）
中村 哲三様　（7月）　謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

会報の制作についてお手伝いできるならという軽い気持ちで、編集をひきうけたものの、前2号はどうにも魅力ある会報とは言い難く、はてさてどうすればいいのか大変迷いました。それにはやはり、ホームページとの差別化をはかることだろうと、無い知恵を絞りましたが、はたしてどんな出来栄えか心配しています。より良い会報を目指して、企画の参考になるようなアドバイスをいただければ幸いです。（S）

千代田稲門会の精神

先輩は後輩を
慈(いつく)しみ
後輩は先輩を
敬(うやま)う